

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月12日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7851 URL http://www.kc-s.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 康平
 問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者兼総務部長 (氏名) 梶山 伸夫 (TEL) 06-6222-7474
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	896	10.5	43	164.2	55	82.1	50	82.5
26年3月期第1四半期	811	△14.2	16	△56.5	30	△43.5	27	△30.2
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第1四半期	10.47		—					
26年3月期第1四半期	5.69		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,405	3,438	78.1
26年3月期	4,512	3,429	76.0

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,438百万円 26年3月期 3,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,584	4.9	10	—	38	—	15	—	3.12
通期	3,100	2.2	12	—	32	—	17	—	3.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期1Q	5,160,000株	26年3月期	5,160,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	381,247株	26年3月期	381,247株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期1Q	4,778,753株	26年3月期1Q	4,812,916株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における日本経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策などにより、企業収益や雇用情勢が改善されるなど、基調的には緩やかな回復を続けています。

しかし、一方では消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や円安による原材料価格の上昇、海外の政情の不安などの要因も加わり、先行き不透明な状況で推移しております。

ビジネスフォーム業界におきましても、企業の経費削減や電子化による紙媒体の使用量減少、同業間の価格競争の激化に加え原材料の値上がり等の影響もあり、引き続き厳しい状況が続いております。

このような情勢の中で、営業部門におきましては、比較的付加価値の高い情報処理案件を主力取扱商品とし、今後も需要が見込める金融、通販業界や中央官庁、外郭団体を中心に既存案件の継続受注依頼と新部署、新案件の開拓に注力してまいりました。また、そのような営業活動に専念できるような業務改善を図り、支援体制の強化をいたしました。

生産部門におきましては、品質、生産性向上による利益確保をめざし、導入したプリンターの活用、外注案件の内製化の促進や省力化、コスト意識やスキル向上のための教育に努めました。また、原材料の値上がりを踏まえ原材料使用量の低減に努めました。

以上の結果、売上高は896百万円(前年同期は811百万円)、経常利益は55百万円(前年同期は30百万円)、四半期純利益は50百万円(前年同期は27百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ビジネスフォーム事業

企業のコスト見直しによる需要の減少、価格競争激化の影響があったものの、新規取引先の獲得もあり、売上高は前年同期と比べ、67百万円増加の614百万円(前年同期は546百万円)、セグメント利益は93百万円(前年同期は76百万円)となりました。

② 情報処理事業

幅広く新規案件獲得に向けた営業活動を行ったことや既存取引先の新規案件獲得もあり、売上高は前年同期と比べ17百万円増加の282百万円(前年同期は264百万円)となりました。しかしながら、想定していたコスト削減が図れなかったことにより、セグメント利益は34百万円(前年同期は35百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末と比べ77百万円減少し、2,473百万円となりました。これは主に「受取手形及び売掛金」が148百万円、「その他」に含まれる「前払費用」が13百万円、「未収入金」が12百万円それぞれ増加し、「現金及び預金」が255百万円減少したことが要因となっております。

固定資産は前事業年度末と比べ29百万円減少し、1,932百万円となりました。これは主に「投資その他の資産」に含まれる「投資有価証券」が9百万円、「保険積立金」が4百万円それぞれ増加し、減価償却の影響により「有形固定資産」が35百万円減少したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ111百万円減少し、754百万円となりました。これは主に「買掛金」が29百万円、「短期借入金」が80百万円それぞれ減少したことが要因となっております。

固定負債は前事業年度末と比べ4百万円減少し、212百万円となりました。これは主に「退職給付引当金」が4百万円、「役員退職慰労引当金」が2百万円それぞれ増加し、「その他」に含まれる「リース債務」が12百万円減少したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ9百万円増加し、3,438百万円となりました。これは主に「利益剰余金」が2百万円、「その他有価証券評価差額金」が6百万円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月14日に開示した業績予想につきまして現時点における修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,909,483	1,653,743
受取手形及び売掛金	549,030	697,787
商品及び製品	32,230	30,860
仕掛品	8,358	7,534
原材料及び貯蔵品	22,493	26,755
その他	29,587	57,026
貸倒引当金	△145	△184
流動資産合計	2,551,038	2,473,522
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	379,199	371,560
土地	523,057	523,057
その他(純額)	413,412	385,143
有形固定資産合計	1,315,670	1,279,761
無形固定資産	64,299	56,716
投資その他の資産	581,421	595,706
固定資産合計	1,961,391	1,932,184
資産合計	4,512,429	4,405,706
負債の部		
流動負債		
買掛金	181,666	151,929
短期借入金	436,640	356,640
未払法人税等	6,393	5,707
賞与引当金	44,690	23,877
その他	196,574	216,368
流動負債合計	865,965	754,523
固定負債		
長期借入金	13,360	11,700
退職給付引当金	44,242	49,191
役員退職慰労引当金	33,979	36,350
その他	124,963	115,008
固定負債合計	216,546	212,250
負債合計	1,082,511	966,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,226,650	1,226,650
資本剰余金	1,172,655	1,172,655
利益剰余金	1,104,593	1,106,818
自己株式	△93,824	△93,824
株主資本合計	3,410,074	3,412,299
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,844	26,633
評価・換算差額等合計	19,844	26,633
純資産合計	3,429,918	3,438,932
負債純資産合計	4,512,429	4,405,706

(2) 四半期損益計算書

第 1 四半期累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)	当第 1 四半期累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 6 月30日)
売上高	811,265	896,613
売上原価	567,781	628,119
売上総利益	243,483	268,493
販売費及び一般管理費	226,976	224,882
営業利益	16,507	43,610
営業外収益		
受取利息	57	57
受取配当金	1,052	1,262
助成金収入	12,432	12,128
為替差益	1,890	-
その他	1,596	1,938
営業外収益合計	17,029	15,386
営業外費用		
支払利息	3,054	2,416
為替差損	-	649
その他	67	546
営業外費用合計	3,121	3,613
経常利益	30,414	55,384
特別利益		
固定資産売却益	-	61
特別利益合計	-	61
税引前四半期純利益	30,414	55,445
法人税、住民税及び事業税	3,004	5,432
法人税等合計	3,004	5,432
四半期純利益	27,410	50,012

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	546,703	264,561	811,265	—	811,265
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	546,703	264,561	811,265	—	811,265
セグメント利益	76,060	35,880	111,941	△95,433	16,507

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	614,316	282,296	896,613	—	896,613
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	614,316	282,296	896,613	—	896,613
セグメント利益	93,350	34,833	128,184	△84,573	43,610

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業利益と調整を行っています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。